



発行 日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

9月議会閉会

基金(貯金) 127億円

# 切実な要望の実現に活用を

19日(水)、9月定例市議会は討論・採決をおこない閉会しました。市長提案の27件はすべて可決・承認されました。日本共産党は、17件に賛成し、29年度一般会計決算認定、市立看護専門学校の定員削減など10件に反対しました。主な議案等の採決結果は下表の通りです。

## 必要な借金は

## 未来への投資

日本共産党の決算認定での討論は次の通りです。

基金(貯金)の総額 127

億円は、29年度決算歳出総額

692億円の18%にもなり、

市には多額の貯金があります。

実質的な借金は160億円

で、毎年減少し続けています。

自治体における借金は全て悪

ということではありません。

新病院建設、学校エアコンの

設置などの事業は計画的な負

債・借金により実現しました。

仕事をしなければ借金の必要

はなく借金は減ります。自治

体が住民の切実に必要な事業

をすすめる上で借金は必要不

可欠なものです。ムダな借金

は許されませんが、必要な借

金は未来への投資です。

以上のように市の財政は実質的な借金は少なく、貯金が多くあります。今こそ、他市と比べておこなわれている施策の前進を図り、市民負担を軽減し、市民サービスの向上を図ることが必要です。

## 住宅リフォーム助成条例

## 請願・決議を無視し否決

日本共産党が提案した、住

宅リフォーム助成条例は、

「市が空き家対策を目的としてたりノベーション(大規模改修)助成を今後実施する」という理由で、2度の請願採択と、今年6月議会での実施決議に賛成した前進かすかべ。未来の会と、公明党も反対し否決されました。

日本共産党は「経済の活性化を目的とした請願・決議の主旨を活かした条例の制定」を強く主張しました。

## 主な議案、意見書、条例、請願の賛否

	議案	意見書・条例・請願
▲ 1名退席 ● 反対・否決・不採択 ○ 賛成・可決・採択 ◎ 提出党派・紹介議員	29年度一般会計決算認定	体育館にエアコン設置の請願 住宅リフォーム助成条例 オスプレイの撤去・配備撤回 東海第二原発の再稼働中止 障害者雇用増し解明・防止
※前進かすかべ。未来の会 ☆NHKから国民を守る党	市立看護専門学校の定員削減	
<b>日本共産党(6)</b>	● ●	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
新政の会 (10)	○ ○	○ ● ● ● ● ●
※未来の会 (8)	○ ○	○ ○ ▲ ● ● ○
公明党 (6)	○ ○	○ ● ● ● ● ●
無所属 (1)	○ ○	○ ● ● ● ● ●
☆無所属 (1)	○ ○	○ ○ ● ● ● ●
<b>結果</b>	○ ○	○ ● ● ● ● ●

坂巻かつのり議員一般質問

# 住宅リフォーム助成制度

## 経済政策として早期実現を！



9月11日、坂巻かつのり議員は9月定例会市議会一般質問で、①経済政策としての住宅リフォーム助成制度の早期実現を②部活動の在り方について、の2点について取り上げました。

### 少ない予算で 大きな経済効果

住宅リフォーム助成制度は、住宅の改修やリフォームの工事に自治体はその工事費の5%から30%の補助をすると

いうもので、補助の限度額は5万円から20万円で実施されています。

少ない予算で大きな経済効果を生み出すことから、多くの自治体で実施され、現在、全国573自治体で、埼玉県内でも64自治体中43の自治体で実施しています。工事を地元の業者に発注する工夫をすれば、リフォームをする市民にとっても業者にとってもメリットがあり、経済波及効果も大きく、市内産業の振興にもなる制度です。

### 請願2回、決議1回の 意義 尊重せず！

市内の商店街は賑わい

が失われています。地域循環型の経済政策として、住宅リフォーム助成制度は大変有効です

住宅リフォーム助成制度は2011年12月議会で「創設を求める請願」が、昨年9月議会では「早期実現を求める請願」が採択され、今年6月議会では「早期実施を求める決議」が採択されました。請願や決議が合計3回も採択された事には大きな意義があります。

市は「空き家等を活用する助成制度を構築する」と答弁しましたが、請願が求めているのは空き家ではなく、住居のリフォーム助成制度です。

坂巻議員は「請願、決議の意義を尊重し、住宅リフォーム助成制度を早急に実施すべき」と求めました。

市長は「街作りの視点を持って住宅政策に取り組む」と答えるのみでした。

### 週2日の休養日 練習は2時間以内

今、多くの教員が過労死ラインを超える勤務を強いられています。その一つの要因として部活動が考えられます。

部活動は「生徒の自主的・自発的な参加により行う」とされていますが、試合に勝ちたいという思いから練習が過熱化し、生徒も先生も疲れ切ってしまうという面もあります。

埼玉県では7月に「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」を策定し「部活動における活動時間は平日2時間以内、休養日は週2日以上」とする基準を設けました。

坂巻議員は「具体的に休業日や練習時間を、決まりとして盛り込んだ、実効性のある『春日部市の方針』を策定して頂きたい」と求めました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系

小児救急電話相談 #7119

9/30(日) あゆみクリニック(小児科系)大枝 400-4 TEL731-3283

黄川田医院(内科系)小渕 690-2 TEL752-8872 渡辺クリニック(外科系)上蛭田 128 TEL754-3666

10/7(日) ファミリークリニックまの(小児科系)千間 1-59-5 TEL736-5155

三須医院(内科系)粕壁東 1-11-12 TEL752-2200 おおつ整形外科(外科系)中央 2-17-10 TEL797-5802